

管内沿岸域流況調査
報告書

平成23年10月

第九管区海上保安本部

1 目的

平成23年度海洋情報業務計画に基づき、管内沿岸域において航空機による流況状況の確認を行い、マリンレジャー活動に係る安全推進、漂流予測の精度向上に資する基礎資料を得るものとする。

2 調査海域（「付図」参照）

新潟県沿岸域及び石川県沿岸域

3 実施職員

(1) 現地作業班

班長	海洋情報部海洋調査課海洋調査官	渡辺 健志
班員	〃 海洋調査官付	高田 聖士

(2) 資料整理班

班長	海洋情報部海洋調査課海洋調査官	渡辺 健志
班員	〃 海洋調査官付	高田 聖士

4 調査期間及び経過概要

(1) 現地作業期間

平成23年10月31日の1日間

(2) 資料整理期間

平成23年11月1日から平成24年2月10日までのうち30日間

(3) 経過概要

航空機に同乗しての調査は、石川県沿岸域も行う予定であったが、天候不良のため、新潟県沿岸域のみとなった。

石川県沿岸域の目視観測は行えなかったが、平成23年11月3日に新潟航空基地職員が同海域の写真撮影を行ったため、その写真も使用して報告書を作成した。

日次	月日	内容
1	10月31日	新潟航空基地離陸 新潟県沿岸域調査 新潟航空基地着陸

5 調査方法

新潟航空基地所属の航空機に同乗して、離岸流等の特異な流れ及びそれに関わる事象について、目視による観察及びデジタルカメラを使用しての撮影を行った。

新潟航空基地を離陸し、海岸線に沿って石地海岸まで調査を行った。石地海岸での調査が終了した後、往路と同様に海岸線に沿って新潟航空基地に向かい、着陸した。

6 使用した船舶又は航空機の種別又は名称

新潟航空基地所属 MH904

7 調査結果（「写真集」参照）

離岸流が確認しづらい海域もあったが、砂の流れ出る様子や波の切れ間等からの離岸流を確認した。

当時の気象は、北寄りの風約2～4 m/s、波高約0.5～0.8 mであった。